

第 1 4 期 4 回八尾市図書館協議会会議録

平成 1 7 年 7 月 1 4 日(木) 午前 10 時 ~ 1 2 時 八尾市立八尾図書館

1. 出席者(敬称略)

藤井 威	(八尾市校長会)
森 弘和	(八尾市生涯学習センター学習プラザ運営審議会)
中浜 多美江	(八尾市女性団体連合会)
岩崎 秀	(大阪府立中央図書館)
小西 和夫	(大阪市立中央図書館)
越智 妙子	(八尾市議会議員)
長野 昌海	(八尾市議会議員)
隈 美智子	(こぐま文庫)
赤井 尚子	(やお絵本の会)

職員

藤田 和章	(生涯学習部長)
谷口 正文	(八尾図書館長)
磯山 好男	(山本図書館長)
山東 裕	(志紀図書館長)
福島 英彦	(八尾図書館長補佐)
葭矢 利夫	(八尾図書館主幹)
喜多 由美子	(八尾図書館司書)

- 案件 議事
1. 生涯学習部長挨拶
 2. 議題
 - (1) 会長選出
 - (2) 平成 1 6 年度 事業報告について
 - (3) 平成 1 7 年度事業方針について
 3. その他

議事内容

(磯山) ただいまより 図書館協議会を開催いたします。委員の皆さんには何かとご多忙のところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。会議次第に入る前に一部委員さんが変わられておりますので、改めてご紹介させていただきます。(略)

それでは開会にあたりまして、藤田生涯学習部長からご挨拶を申し上げます。

(部長)委員の皆様方、ご多忙のところ、図書館協議会にご参加いただきありがとうございます。市立図書館は昭和 5 3 年に現在の八尾図書館が開館以来、その間、志紀、山本図書館が開館いたしました。図書館は誰でも利用できる身近な生涯学習施設として、市民の本棚として親しまれてまいりました。平成 1 6 年度に策定した、これからのあり方としての具体の実施方策である、「八尾市図書館サービス計画」

に基づきまして、祝日・夜間開館を実施してまいりたいと考えております。また、市内の大学との相互貸借についても実施してまいりたいと考えております。

八尾市の財政は厳しい状態ではありますが、図書館というものに対する環境も厳しいものがございますが、利用者の利便、多様な市民ニーズに対応し、効果的な図書館運営に努めたいと思います。

(磯山) それでは本川会長が退任されておりますので、会長の選出をお願いしたいと存じますが、本日塩入副会長も欠席されておりますので、どのようにさせていただいたらよろしいでしょうか。

() 事務局一任

(磯山) それでは、事務局一任というご意見を頂戴いたしましたので、事務局より、仮の議長を指名させていただきます、仮議長の下で、会長の選出をお願いしたいと存じますが、よろしいでしょうか。それでは、仮議長に森委員さんを指名いたします。森委員さん、よろしくお願いいたします。

(森) ただいま仮議長に選出されました森でございます。早速ですが、会長の選出をさせていただきます。最初に、立候補、推薦されます方はおられないでしょうか。ないようでしたら、私が推薦させていただきます、よろしいでしょうか。

() 異議なし。

(森) 異議なしとの声がありましたので、会長には慣例どおり、大阪市立中央図書館の小西委員さんをお願いしたいと思います。

(磯山) 会長さんは会長席に移動をお願いします。
会長よりご挨拶いたします。

(小西) ただいまご選任いただきました大阪市立中央図書館の小西でございます。今後ともどうぞよろしく申し上げます。私は大阪市の図書館に勤めて、30年になります。図書館の中では図書館システムの開発、それから新中央図書館の建設にもかかわらせていただきました。

図書館の運営ということにおきますと、厳しい状況が一方ではありますが、市民の皆様からの期待もあります。八尾市の図書館サービスについては先ほど部長からもお話がありましたように、「八尾市サービス計画」、「子どもの読書推進計画」なりに早くから取り組まれております。微力ながら、発展につながればと思っております。皆様のご協力を得て、円滑に進めていきたいと思っております。

(磯山) ありがとうございます。議事の進行をよろしくお願いいたします。

(小西) 早速ですが、本日の議題に上がっております、「平成16年度 事業報告について」、ならびに「平成17年度事業方針について」ということについて一括で事務局より申し上げます。

(事務局) (略)

(会長)ありがとうございました。ただいま詳細な報告をいただいたわけですが、まず、平成16年度事業報告について委員の方でご質問のある方がおられたら出していただきたいと思います。

(越智)16年度だけとは限りませんが、数字からお聞きしたい。5pのところを見ますと、八尾、山本、志紀の地域ですが、説明にもありましたが、図書館のあるところでは利用者が多く、図書館から遠いところでは利用者が少ないということですが、そのとおりだなと思います。残念ながら、私の住んでいる久宝寺ではそんなに多くないわけですが、条件があれば利用できるということが、ここから伺えると思う。

9pには、ここで障害者サービスとして対面朗読等が行われているが、障害にもいろいろあります。例えば、目が見えないということもありますし、耳が聞こえないということもありますが、外になかなか出向けないなど、障害にもいろいろあると思います。例えば、年齢別にいきますと、定年後になりますと、本を読む機会が増えますが、そのことに関する障害もいろいろあると思います。高齢者とか、障害者とかあわせてお伺いしたい。年齢別でいきますと、定年後の方の利用率というのはどのようになっているのでしょうか。

(館長)統計区分が60歳以降一括してとっているわけですが、全体に言えば12.7%を締めている。年々、高齢者の利用率が高くなり、大きなウェートを占めています。

(越智)これからさらに団塊の世代が定年を向かえるわけで、定年後の人たちの図書館利用がでてくるだろう。パソコンなどは高齢者がはるかに利用されている。図書館のサイトを開けてみれば図書館の検索はできますが、もう1歩進んでパソコンでの予約ができたならよりいいと思う。その本を自宅まで宅配をしていただければ、もっと簡単に高齢者や障害者が図書館を利用できると考えている。

(館長)インターネットによる予約は府内でもかなり進んでおります。昨年の文化の日に試行した際の調査でも相当高い要望が出ている。インターネット予約を行うことによって利用者の利便性も高まり、すそ野も広がると考えています。現在の図書館の電算システムは、蔵書検索はできますが、インターネットの予約対応できないシステムになっている。この電算システムにつきましては来年2月に更新時期を迎えるわけでございます。新システム導入する際には導入を考えていますが、新システムを導入するとなりますと、大変な経費がかかりますので、現行のシステムの電算システムのバージョンアップでの対応で、出来ないかということも検討しているのです。新システムの導入時か、現行システムの改修で、インターネット予約が対応できるようなかたちにもっていきたいと考えております。

いずれにいたしましても予算措置等の問題もございますので、来年度予算が確保できるように図書館も努力していきたい。必要性は承知おりますし、インターネット予約自体が、実施計画等でも導入が決まっております。要は予算とシステム的な対応ができるかどうかということでございます。

宅配サービスでございますが、府内でも数市おやりになっているところもございます。八尾市立図書館でも検討しているところがございます。方法といたしましては、図書館の職員が搬送する方法、郵送による方法、いわゆる宅配、一部の市ではボランティアの活用されている例も聞いています。当市では「図書館サービス計画」に基づき、館の運営の効率、効果的な運営をあらゆる面で検討する中で、物流サービスとして連絡車を持っており、3館の資料の搬送、ポストの回収、相互貸借等に使用しておりますが、物流サービスの見直し、改善について、今年度着手しておりますので、これがある程度、来年度に向けて、見通しが立ってきております。来年度、早期の時期に、障害者への宅配サービスの実施につい

て具体的に行っていきたいと考えております。ただ、需要等の関係もございますし、現在では図書館の職員の手による連絡車によるサービスを考えておりますが、利用によっては、プライバシーを配慮したボランティアの活用も選択肢の一つかと思っておりますが、現在のところ、図書館職員の手による宅配サービスの実施に向けて、具体的に検討させていただきたいと思っております。

(会長) 先ほどの事務局の説明の中で、電算システムの更新は来年の2月ですか？

(館長) 来年2月でリース期間が満了いたします。

(越智) 自分がどのような本を読んでいるかというのはプライバシーに関わる問題ですから、自宅でインターネットで取れるということは大きなことだと思います。慎重にお願いしたい。どこかで、障害をもたれた方も「何級以上の障害」と級ということが言われるが、どなたでもということに留意していただきたい。図書館での障害者、高齢者に対する充実も合わせて、充実をお願いしたいと要望したい。

(会長) 関連でご質問は。

(隈) 高齢者サービスに自動車文庫のサービスがあるが、車の耐用年数がくるということであるが今後どのように取り組まれるでしょうか。

(館長) ディーゼルカーの排ガス規制の対象になりますので、19年1月以降、ディーゼルバスでは運行できないことになります。来年度には方針として買換えていきたい。移動図書館バスは改造等を含めると1500万程度かかるようなものです。これも予算等もございますが、努力していきたい。

ただ、ご指摘のように、移動図書館は全域サービスは図書館サービスの大きな柱であり、固定施設をカバーできない部分について移動図書館でカバーしているような状況です。「指数で見る八尾市の図書館」でございますが、21pに移動図書館の状況を載せております。ここで見ていただくと、多くの方が移動図書館を利用し、非常に重要なものと認識しております。サービスのあり方や、ステーションの問題もありますが、効率的なサービスにつながるように検討もいたしております。昨年度、移動図書館の利用者アンケートを実施したところ、やはり非常に高い要望があり、図書館にとってはなくてはならないものでございます。

今年、現在の八尾図書館は昭和53年の開館でございますが、移動図書館につきましては、公民館自動車文庫ということで昭和50年8月にスタートし、今年が30周年という節目の年でもございます。市民の方にもそういうことを含めたPRに努め、庁内的にもそのあたりの理解を求めた上で予算の確保に努めたいと思っております。

(中浜) 子どもの文字離れが激しい。八尾、山本、志紀以外に移動図書館についてもよろしくお願いたします。

(会長) 移動図書館は経費がかかり、頭がいたいんですが、事務局からお話いただいたとおりです。他に何か。

(赤井) ボランティア活用の話がでましたが、ホームページでみると、プレーメンの会、好きな本を読

む会については書かれていますが、山本、八尾も志紀もいろいろボランティアが活動しています。60歳以上の方でもボランティアをしたいという方が時々お見えになっている。まず、HPにも活動紹介を入れていただけたらと思います。

それと、ボランティアの交流会が八尾図書館にあり、どういう広がりを見せているのかということをお聞きしたい。予算も限りがあるが、ボランティアについてどういうことをしていけばいいか。

(館長) ボランティアの自主的な活動の支援援助は大きな役割だと考えております。今年もボランティア交流会ということで、情報交換、図書館の紹介など、活動中のボランティアの方に集まっていただき、スキルアップなどもさせていただいております。ボランティアに関する部分だけではなく、図書館自体のPRが不足しているという状況がございます。先ほどおっしゃっていただいたようにボランティアの活動についても将来的には乳幼児に対する読み聞かせなり、HPだけではなく、いろんな面で行うことで広がっていく。そういう面で、図書館を中心として、ボランティアのみなさんが、自主的に活動してもらえたらありがたいと考えています。

PRとしては、志紀図書館では「しきえもんニュース」を出しており、利用者と図書館を結ぶ手立てだと考えています。そういう紙面の活用などで、図書館自体を広く知っていただくために広報の充実に取り組んでいます。例えばFMチャオで紹介させていただくとか、身近な活動をやっておられているということで、市民の方にも知っていただきたいので、努力していきたいと考えております。

(赤井) よろしくをお願いします。

(会長) 他に、ご質問等はありませんか。

(隈) 職員の館内サービスのみならず具体的にやっておられるサービスをご紹介いただきたい。

(館長) 学校との連携のひとつとして、司書を派遣して読み聞かせ指導を行っています。市立病院の院内学級に司書を派遣しております。主な活動はそのような状況でございます。

(隈) それに関連して、他市ではブックスタートを行っているが、八尾市ではブックスタートのようなものは行っているのか。

(館長) 乳幼児の読書環境の整備は、重要なことです。ブックリストを作っておりますが、司書を派遣できるかという問題もあります。検診の空き時間に絵本の楽しさとか、親御さんに理解していただくため機会を設けたい。今年度につきましては、検診機会も確定しており、来年度に向けて、健康管理課の受入も問題もございます、司書を派遣できるかというような問題もございますが、調整の上、前向きに考えていきたいと思っております。

(越智) 図書館が公民館図書室として移動図書館がスタートしたということですが、ここの関係でいけば、これから、夏休みに入っていくが、子どもたちは校区外には中々出ることができません。コミセンの図書室があれば、そういうところがもう少し充実できればいいなと考えています。コミセンとここの関係はどのようになっているのか。

(館長) 個々に要請があれば対応させていただいておりますが、きちんとした連携は現在のところとられていません。図書館資料につきましては、リサイクル等に回す資料についても有効活用という面がございますが、今後、自治推進課と連携を深めたいと考えております。具体例ではございますが、団体貸出ということで、希望があれば貸出も可能です。

(隈) 学校図書館に関しては少し動きがあると思うんです。連携を具体的にどうやっていくかについて具体の話をお伺いしたい。学校貸出ですが、一校減って、貸し出しが上がっているが、学校図書館への司書教諭へのサービスは？

(館長) 要請があれば、学校図書館とかにも伺っている。学校の方にも校長会などの組織があるわけで、私どもの方にもこういう事業があるということを十分に周知していただいた上で、大いに活用していただいておりますが、PRの不足面もあるのかわかりませんので、図書館が団体貸出を含めて、こういう事業があるということについて、周知した上で、活用していただくということで、様々な場面に对应していただきたい。それぞれの先生方が学校の方で児童等にご指導されるわけでございますし、結構、そういう学校等の要請も多く、司書の派遣も多くなっている。そういうことも含めて重点的に行いたい。

図書館は教育機関のひとつでありますし、教育委員会に属するひとつの部分ですので、生涯学習の一環を担う児童等に対するサービスとして、学校との連携は大きな柱であると考えております。また、方針の中でも児童サービスという分野を設けておりますので、今後とも、重点的に行っていきたいと考えております。

(藤井) 学校の方から申しますと、学校貸出は大変ありがたい。多くの学校で受けております。図書館の担当教諭が扱ったり、学級文庫的な扱いでやっていることもあります。これは非常にありがたいので、今後もより充実していただければと考えています。

といいますのは、大概の学校では校区外に出ないようにという指導を行っております関係上、なかなか、3つの図書館に行く機会は少なからうと思います。行くとすれば、保護者付き添いの元でということになります。ということで、学校からの指導を守れば守るほど子どもたちが本と出会う機会は少なくなります。そういう意味では団体、学校貸出、あるいは移動図書館は大変ありがたい。

私は、現任校に4月に転勤しました。そこに全盲の子どもが入学してまいりました。同時に、八尾市内の高齢者のケアハウス、特別老人ホーム等にも巡回して回っていただける日があれば、生きがいにつながっていくと思います。以上です。

(会長) 高齢者施設への巡回という意見もでしたが。

(部長) 貴重なご意見ありがとうございます。予算の関係もありますが、移動図書館の物流サービスの充実の中で施設にも宅配できるシステムも検討中です。ご意見を踏まえながら、精力的にがんばっていききたい。

(会長) 17年度の方針についても踏まえてお願いします。

(長野) 17年度ですが、試行ということで夜間開館の試行について、どういう体制で行われるのか。

(館長) 昨年、11月3日の文化の日に祝日開館の試行を行いました。あわせて利用者調査も行いました。そこで、非常に図書館の開館時間の延長を望む声も高かった。昨年度からワーキンググループを設けて具体的に検討を始めています。今年度内ですが、期間については9～10月の2ヶ月間。時間でございますが、現在午後5時までということですが、2時間延長の7時まで。開館につきましては午前10時から午後7時までということでございます。開館方法でございますが、「図書館サービス計画」では「体制の整備後実施」ということですが、現行の職員体制で創意工夫を重ね、水曜日から金曜日までを、試行・実施したいと考えている。各曜日を各館で固定して実施していきたい。具体にはつめている最中ですが、水曜日は八尾図書館、木曜日は山本図書館、金曜日は志紀図書館という具合に、いずれかの曜日に開館しているということで、試行したい。試行後、充分検証したうえで、18年度の速い時期に本格実施したいと考えております。

(長野) 9月からということで、去年の開館の時もPR不足、周知が図られていなかったというような分析もあったと思いますので、9月実施で、いろんなデータを取られるわけですので、わかった時点で、お知らせ願いたいし、PRも考えていただきたい。8月ぐらいから、PRしていただきたい。9、10月となると、困る。来年度の本格実施に向けて、今回はデータが大変大事になってくると思いますので、充分取っていただきたい。十分な体制でお願いしたい。

(会長) 他にご質問とか

(中浜) 教えていただきたいが、築43年ということをお聞きしているが、八尾の中心での立替等は怎么样了のか。この場所での立替はどうなっているのか。教育センターあたりには行けないのかというような意見がありましたのでお伺いしたい。

(館長) 現在の八尾図書館は昭和36年12月に旧八尾市農協の本店として建設されたものを昭和53年に用途変更を行い、現在に至っております。耐震を含めた老朽化の問題、委員さんからご指摘のあったようにバリアフリーの問題があります。先ほどから、障害者、高齢者の図書館利用が出ているわけですが、八尾図書館では、敷地や建物の構造の問題で改造できないような状況でもございます。2階が児童室になっており、車椅子で利用できないような状況でもございます。バリアフリーでも大きな問題がありますが、もともと金融機関の事務所をを図書館に改造しておりますので、使い勝手も悪く、建物が制約されているわけでございます。特に、蔵書は八尾図書館がもっとも多いわけですが、開架図書が少なく、AV資料につきましても山本・志紀では取り扱っておりますが、八尾図書館でも取り扱って欲しいというような要望がありますが、現行スペースからいくと、機能も取れないような状況でございます。それと、3館の中央図書館的な機能も八尾図書館が有していますが、それについても限度があります。43年を経過している建物でございますので、私どもといたしましても、この図書館の再生といいますか、機能回復できるような面に向けて検討中です。特に、今、ご指摘がありましたように、現行の八尾図書館の建替えになるのか、周辺に移転するのかというような話もございますが、具体的な方向、場所等を含めて一定の方針を早急に掲げた上で、市の実施計画に計上すべきだと考えていますし、館内でも具体的に着手している状況であります。

(会長) ご意見があれば。

(岩崎) 八尾図書館建替えの問題で、中央館との関係で、選択肢との関係についてお聞かせいただきたい。

(部長) 一番大きな課題ですが、八尾図書館の老朽化の問題で、継続利用は難しい。緊急避難的に教育センターということについても面積など、課題もある。中央図書館については財政状況の悪化にともない、どちらということも答えとしては出にくい。緊急避難的に何とかできないかということもあるが、この場で今申し上げにくい。

(会長) 事情はよくわかりますが、他に。

(赤井) 最後のページに資料費について、前年度に比べて減っているようだが。前年度より減っているのは。

(館長) 図書館費全体で7割が人件費になっている。2割が資料費、残り1割が諸経費ということである。資料費は財政事情等で、努力はしているが、年々減少傾向にある。これは私どもの予算上の数字であり、予算編成の際に、マイナスシーリングという枠をかけられている。それを生涯学習部の配当された自由に使える予算額を活用し、上乗せをしているが、やはり削減傾向にある。予算要求であるので、それに上乗せして、要望して、必要な部分は認められるということであるが、予算の編成で組む段階から、「これについては、委託料含めてたとえば5%マイナスにしてください。」というように枠をかけられているような関係で下がってきている状況です。図書館の資料費は非常に重要であり、新鮮な資料をそろえることによって、多くの人に利用していただけるということでございます。例えば先日の朝日新聞で、堺市の雑誌が相当大幅に削られたというような記事もありましたが、一定枠は工夫の中で確保していきたいと考えておりますが、やはり財政事情により、削減せざるを得ないという現状です。

(会長) 他にご質問はないですか。

(隈) 「指数で読む八尾市の図書館」では、人口は26万と出ているが、人口について説明していただきたい。

(館長) 2003年度の総務省の統計を基にしている。これには在住外国人数が含まれていないようである。このような数値がでてきている。

(会長) 全国比較の数値としては比較できる。実態は表していないと思われます。他に何かあれば。

(隈) 17pを見ると、府内でも正規職員が少なく、嘱託・臨時職員がほとんどという状態である。司書率をみれば正規職員については低く、嘱託については司書職ということで、全体的には司書率が高いが、正規職員の司書率が低いということは、今後、司書を入れて欲しいと思っているが、体制としてはどうでしょうか。

(館長) 55人の体制ですが、ご指摘のように、図書館もこれからどういうあり方を目指すか、正規職員と司書の構成比についてですが、こういう私も資格を持っておりません。以前は夜間の司書講習があ

ったりしています。図書館は専門的な要素が非常に強く、経営についてもそういう知識が相当必要である。図書館の運営方針にも影響が出てくるし、よりよい図書館サービスの向上につながるものと思っている。3館の体制も含めて、職員のあり方について、特に正規職員の構成についても検討したい。司書率は確かに嘱託員を採用する際に、司書資格を問うということで、高い数値がでている。

今後、そのあたりを踏まえて、具体的に教育委員会の定数等の問題もありますが、あるべき姿として検討していきたい。

(会長) 本日議題に上げられております「その他」ということに移りたいと思いますが、事務局の方で何かありますでしょうか。

(事務局)(略)

(会長) ただいまの大学図書館との連携についての報告についてご質問とかご意見はありませんか。

(隈) 夏休みは市民が利用できるということを聞いたことがあります。

(館長) 大阪経済法科大学についても開放しているが、登録料が必要でございます。直接利用していただけるというものではありません。

(会長) 予定されている部分では、相互貸借の充実ということで、相互貸借資料として、経済法科大学の資料が増えるということですか。

(館長) そういう予定です。

(岩崎) 物流はこちらの連絡車が行くのか。

(館長) 現在のところはそういうことになっている。

(会長) 予定されている議題は以上のとおりですが、この際、ご意見、ご質問がありましたら。そうしましたら、事務局からご連絡はありますか。

(館長) 10月下旬に図書館の視察を予定しております。具体的な日程等が決まりましたら、詳細は後日連絡させていただきます。

(会長) 本日はこれで終わらせていただきたいと思います。長時間ありがとうございました。